

	電気機械 ※電子・電気機器を含む	エネルギー・資源	輸送用機械		その他機械 (一般機械、精密機械)	建設	医療	食料品	農林水産
			自動車	その他					
2022年に期待される姿 ※記載内容は例。今後さらに検討を進める。	<ul style="list-style-type: none"> ★★高機能・高性能な電子機器、電子デバイス、センサ等の実現により、人々の生活の利便性が向上する。 ★★光配線と電子回路の融合により、低消費電力な情報通信網が実現する。 ★★超低消費電力な電子デバイス・機器、次世代照明により、低消費電力社会が到来する。 ★情報機器の高機能化・高性能化、新ICTサービスの創出等により、日本の産業競争力が向上する。 	<ul style="list-style-type: none"> ★★火力発電の飛躍的な効率向上とコンバインドサイクル化により、化石資源の有効利用が促進する。 ★★風力発電、太陽光発電、バイオマス発電などが高度化し、クリーンエネルギーの使用が拡大する。 ★★高エネルギー密度二次電池、高効率燃料電池により分散型エネルギーシステムの導入が加速する。 ★★超電導送電や未利用熱の活用により、今以上にエネルギーを有効に活用することが可能になる。 ★★希少元素の代替、リサイクル技術、新規材料、バイオマス由来材料等により資源制約から解放される。 	<ul style="list-style-type: none"> ★★電気自動車の普及、内燃エンジン車の燃費向上によりCO₂排出量が削減される。 ★★電気自動車のチャージあたりの走行距離が向上し、ユーザーの利便性が向上する。 ★★軽量高強度構造材料等により、次世代の高速・低消費電力車両が実現する。 ★★高効率な輸送用機械の実現により、低消費エネルギー社会が到来する。 ★★輸送機械用の電池のリサイクル率が向上し、環境負荷が軽減する。 	<ul style="list-style-type: none"> ★★海水の淡水化等、モノの分離が低エネルギー消費で実現する。 ★★センサ技術の高度化、機械駆動の低摩擦化、加工技術の高度化等により、生産効率が飛躍的に向上する。 	<ul style="list-style-type: none"> ★★建築物の耐震性が向上し、災害からの安全性が向上する。 ★★構造材料の長寿命化、維持管理システムの高機能化により社会インフラが長寿命化する。 	<ul style="list-style-type: none"> ★★指向性の各段に向上したDDSが普及し、効果と副作用軽減が両立する。 ★★皮膚、骨の再生治療法が普及、組織・器官再生の臨床研究が進む。 ★★患者状態の分子レベルでの迅速な把握が可能になり、状態に応じた治療選択、発症前診断・治療が普及する。 ★★家庭やベッドサイドで簡便に健康状態を把握する機器が普及する。 	<ul style="list-style-type: none"> ★食料品の製造・流通において精緻な品質管理が可能となり、安全性が高まる。 	<ul style="list-style-type: none"> ★病害虫に強く、収穫量の多い作物が開発される。 ★農林水産業における作業の負担を軽減する技術が発展する。 	
デバイス	<ul style="list-style-type: none"> ●●光エレクトロニクス 消費電力(1mW/Gbps) 機器間伝送(100bps/ch) ●●ノーマリーオフコンピューティング 不揮発ロジック・メモリ回路とアーキテクチャの検証完了 ●●省エネサーバ、ネットワーク機器、低消費電力デバイス 0.1-0.3V動作デバイス、消費電力1/10-1/100等 ●●低消費電力/高速書換メモリ エネルギーアシスト方式にて記録密度8Tb/in²(現状1.2Tb/in²) ●●ディスプレイ・ディスプレイ用材料、透明電極材料 In代替の酸化物及び導電性高分子の実現 ●●高品質・高効率照明 発光効率2倍(現状の蛍光灯・LED比) ●●半導体関連材料、プロセス技術 1nm精度の大面积パターニング;DRAMハーフピッチ(11nm)、FLASHハーフピッチ(8nm)を実現するリソ技術が確立; LSI処理の高度化、省エネ化の進展 ●●MEMS/NEMSデバイス、加工プロセス、材料 250pm/V以上の薄膜圧電材料; 薄さ3mm以下、体積0.1cm³以下超小型の光スキャナーデバイスの量産技術開発が完了 ●●新原理ナノデバイス 原子レベル、10Tb以上/cm²の記録技術; 従来のトランジスタに比べ、室温で消費電力が1/10,000以下の単電子トランジスタの作製技術; 不揮発性論理素子の実現 	<ul style="list-style-type: none"> ●●エネルギーキャリア 化石燃料・バイオマスのガス化、H₂/CO₂膜分離の実現、再生可能エネルギー等からの高効率低コスト水素製造、水素の長距離輸送 ●●固体高分子形燃料電池(PEFC) 電極用Pt触媒の劣化問題の根本的解決 ●●固体酸化物形燃料電池(SOFC) 出力密度が現状の2倍のSOFC発電セル; 低コスト高耐久性セル ●●分離膜 浸透圧発電(塩分濃度差発電) ●●光触媒 レアメタルフリーで全エネルギー変換効率3%(現状0.04%); 水から水素を製造する光触媒のエネルギー変換効率が現在から30倍以上に飛躍的に向上 ●●低摩擦材料・トライボロジー技術 摩擦によるエネルギーロスが10%低減; 動力用石油年間使用量を10%減らすグリーントライボシステムを20%普及 ●●希少元素代替材料 白金代替(Pt使用量:0%)触媒 ●●バイオマス関連材料 非可食性バイオマス由来化学品の製造プロセスの確立; プラスチックの50%をバイオマス由来に置き換え; CO₂排出量1200万トン/年以上の削減 ●●高性能パワーデバイス・高効率インバータ 電力変換器の半導体ユニットの損失が70%低減 ●●高効率モーター モーターのエネルギー損失が25%削減される(国内電力消費量の約2.5%を削減)。 ●●高感度センサデバイス オフィスビル、工場の中に配置するセンサを用いてエネルギー消費量やCO₂排出量の把握、最適化が可能になる。; 従来よりも感度、信頼性ともに向上したガスセンサにより、疾患のマーカを呼気から分析する技術開発が進む。 ●●高性能磁石・レアアースフリー磁石、磁性材料 180°Cで1.5倍の強さを持つ耐熱性ジスプロシウム(Dy)フリーネオジム焼結磁石が実用化 ●●高効率・長寿命・低コスト太陽電池 ラベレベルで変換効率25%(現状16%); 発電コスト7円/kWh以下; 変換効率40%、寿命15年以上 ●●超電導材料、超電導デバイス・線材 77Kで臨界電流密度400A/mm²の線材の実現; THz領域での高強度発振デバイスの実現 ●●大容量・高エネルギー密度二次電池、二次電池用材料 250Wh/kgを超える高エネルギー密度の車載用大型電池が15円/Whの価格で実用化されている。; 現状の3倍のエネルギー密度(550~600Wh/L)の高容量リチウム電池; 重量エネルギー密度250Wh/kg、出力密度1500W/kg、寿命10-15年の二次電池 	<ul style="list-style-type: none"> ●●マイクロリアクタ(E-17) マイクロリアクタを集積した大型化学プラントの実現 ●●機能性建材(B-1, H-38, I-112) 温度、湿度を同時に調整できる内外装材料が実現 ●●分離膜 ・安価な水浄化システム ・CO₂/N₂高効率ガス分離フィルム 	<ul style="list-style-type: none"> ●●診断・治療機器、デバイス 超小型体内埋め込み型の診断・治療一元化医療機器(Theranostic device)が実現 ・新規な診断、ベッドサイドで健康状態を把握できる機器の普及 ・米粒程度の大きさで、疾病マーカーの高速検出、遺伝子型判定が可能な医療デバイス ●●生体分子情報解析 ・個人にあう治療選択、発症前診断・治療の実現 ・プロテオーム解析の感度が従来比1000倍以上に向上 ●●生体内分子イメージング ・1分子の精度での生体内イメージング ・15分以内、90%以上の精度での疾患の状態分析 ●●ドラッグ・デリバリー・システム(DDS) ・薬の効果的な輸送や放出を行うナノキャリアの実現 ・ナノ粒子を利用した医薬品の臨床試験が開始 ●●医療用材料 生体吸収Mg合金を用いたステントやインプラントが国内認可 ●●革新的創薬 in silicoで薬物の体内動態・作用のシミュレーションが可能となる。 ●●細胞・組織利用 新規細胞治療の実現、細胞の接着・増殖・分化が制御可能 	<ul style="list-style-type: none"> ●●生体分子情報解析 ・個人にあう治療選択、発症前診断・治療の実現 ・プロテオーム解析の感度が従来比1000倍以上に向上 				
※2ページ目につづく (材料)									<p>各技術項目に記載の○の色は、提案先候補の協議会等との関連を示す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●: グリーンイノベーション協議会 ●: ライフイノベーション協議会 ●: 復興・再生協議会 ●: 重点化課題検討TF (産業競争力の強化)

	電気機械 ※電子・電気機器を含む	エネルギー・資源	輸送用機械		その他機械 (一般機械、精密機械)	建設	医療	食料品	農林水産
			自動車	その他					
(デバイス) ※1ページ目からつく	● カーボンナノ材料(CNT, グラフェン等) 超高速、低消費電力、不揮発性ナノカーボンメモリによるHD、フラッシュメモリ、SDRAMの代替; 炭素繊維を凌駕する力学特性ナノカーボン糸; 電流密度が銅の100倍のナノカーボン等		●●●● カーボン複合材料 強度7GPa弾性率400GPa(現状強度6GPa弾性率300GPa)の高弾性率炭素繊維が上市、航空機材料として適用開始; 従来の製造プロセスに比べて22万トンのCO2排出量削減; 従来自動車比で軽量化率60%の量産車の生産技術が確立等						
	●● 大容量キャパシタ・キャパシタ用誘電体材料 誘電率500,00以上(現状3,000程度)のBaTiO3単結晶が開発される								
			●●●● 軽量高強度構造材 超高強度(現状の最高強度の2倍)と高加工性(伸び率3倍)を両立; 強度2倍、寿命2倍の材料開発が完了; 従来の航空機用アルミ合金に比べ強度で10%以上向上したアルミ合金等; 超高強度(現状の最高強度の1.5倍)と高加工性(伸び率1.5倍)を両立し、かつ低コストな高強度高延性鋼板(中高炭素鋼)						
	● 高精度・超寿命金型用材料、加工技術 電気自動車のモーター用の電磁鋼板、ナノ、アモルファス磁性材料を打ち抜き成形するための高寿命金型; 難加工材を高精度加工するための工具・金型材料								
	●● 熱マネジメント材料・デバイス 排熱温度500°Cで変換効率20%、100°Cで10%を実現; 自動車・住宅等の未利用排熱の回収・再利用が可能となる								
材料	●● 超耐熱材料 入口温度1700°C級の高タービンに適用可能な動翼材料、遮熱コーティング材料; 35MPa、700°Cの蒸気条件で使用できるボイラ・タービン材料								
	各技術項目に記載の○の色は、提案先候補の協議会等との関連を示す。 ●: グリーンイノベーション協議会 ●: ライフイノベーション協議会 ●: 復興・再生協議会 ●: 重点化課題検討TF (産業競争力の強化)								

加工/合成プロセス

材料創成プロセスの高度化・高付加価値化

ナノ操作技術
高次ナノスケール材料創製プロセス

金属の精錬・鍛造・プレス・焼結技術
低コストで劣質鉄原料から高品質鉄製造

単結晶の高品質化技術
・透過損失0.1dB/cm以下を実現する結晶化
・4インチダイヤモンド単結晶ウエハ
・低欠陥、高品質なSiC単結晶(販売可能レベル)

ナノファイバー革新製造技術(F-11)
1ドル/kg以下のナノファイバー

高効率・省エネ石油化学プロセス技術
ナフサの分解温度を200°C低下させるプロセスの実現

ボトムアッププロセスの高度化

ナノ操作による組織制御技術
ナノからサブナノメートルスケールでの精密な網目状構造及び分子機能が複合化した網目状の集積構造

自己組織化による材料形成
望む機能・特性を有する材料、構造、プロセスの設計

加工・接合技術の高度化

コーティング・表面加工技術
塗装技術に肉薄する低コスト大面積成膜技術

難加工性材料の易加工化技術(I-114,147,166,182)
20mm鋼材を仕上げ加工を要しない粗さで切断できる炭酸ガスレーザー

異種材料の接合・積層技術(E-1,F-2, H-46, I,J-9)
各層の厚みが10nm以下の樹脂積層光学材料創製
母材の強度と同等以上の異種材料接合技術

シミュレーション・設計・理論

新機能探索・ナノ材料設計

ナノスケール物質・材料の構造・物性の理論的解析
ナノスケール物質・材料の複合物性等の新規な物性の予測

マルチフィジクスシミュレーション・複雑材料システムの統合シミュレーション
材料のサブミクロンオーダーのナノ診断が可能

熱・機械特性予測
計算科学を用いて、高温での各種耐熱材料基材やコーティング層、両者間の界面における組織・特性変化を予測

インフォマティクスを活用した分子設計
任意の分子認識機能をもつタンパク質の設計手法の確立

スーパーコンピュータ「京」によるシミュレーション
ナノスケールデバイスをシミュレーションし、機能・材料特性予測を実現

計測・評価

計測・評価・観測技術の高度化

化学材料の性能評価技術
新材料・デバイスの効率・寿命・耐久性等の性能評価手法を確立し、開発を加速化

X線動画イメージング
~30ミリ秒レベルでその場計測イメージング

多角的なその場表面計測
単原子分解能を有する多角的なその場表面計測

使用環境下での構造材料モニタリング技術
耐熱材料、高強度材料等の環境中その場計測システムを実現

先進的解析法の開発

単組成定量化法・全パターンフィッティング最大エントロピー法
X線/中性子併用による組成定量化法を実現

検出感度の飛躍的向上

原子分析電子顕微鏡
空間分解能~0.1nm

表面スピン計測技術
表面単原子層のスピン分極分析

化学種同定高感度化技術
四極子核元素の観測を実現(NMR)
化学種を同定した原子分解像計測が実現

空間・時間分解能の飛躍的向上

3次元ピコスコピー
非晶質やヘテロ界面を含む物質内部構造を、原子分解能で、非破壊的・3次的に観察

最先端量子ビームによる先進的な計測・解析
様々な物質の3次元可視化や精密構造解析による機能・発現メカニズムの解明

超高速現象(触媒など)の連続的観測
In-situ XAFSでは時間分解能~1ms

材料中の亀裂およびその進展挙動の計測・評価
空間分解能数mm、時間分解能数msの超音波ホログラム映像法

安全性

ナノ材料等の安全性評価技術
製品並びに生体及び環境中のナノ粒子・材料の特性解明、計測技術手法を開発
ナノ材料に適した各臓器への(特に慢性影響)有害性の試験・評価方法を開発
ナノ材料等の迅速・効率的な安全性評価技術が確立し、リスクの合理的な評価・管理が実現

資源の有効活用

希少元素等のリサイクル・回収技術
レアメタル・レアアースの拡散量低減

不要物の資源化技術
レアメタルを利用しないCO2還元が全エネルギー変換効率3%で実現